自動キャッチ型鎌錠　取付説明書　LZ3KPT

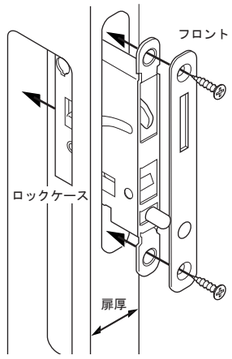
KP-01（表示錠用）

自動キャッチ型鎌錠のケースロックはバックセット３８・５１に選択可能です。
また、右引き・左引きにより設置前に本体の調整が必要です。対応扉厚は３０～４０mmです。取付前に必ず本書を読み確認してください。
※室外側から見て右に引くドアを右引き、左に引くドアを左引きと設定しています。※出荷時は右引きバックセット３８で設定されています。

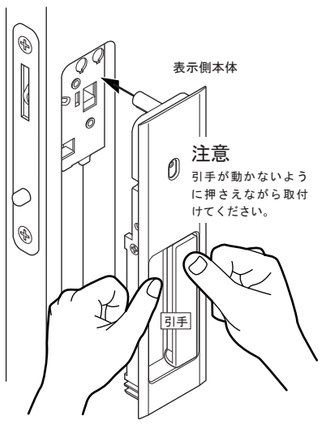
●本説明書は取付け後も廃棄せずご使用者にお渡しください。

組み立て手順

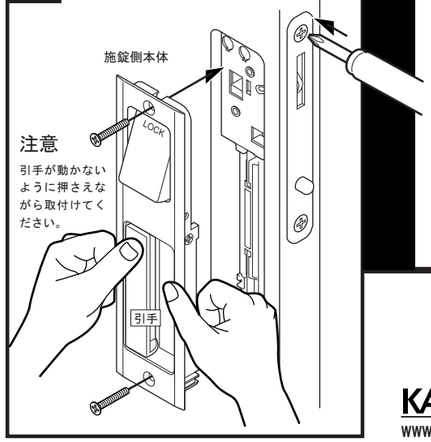
1 ロックケースとフロントを取付けます。この時、フロントネジは仮止めにしておいてください。



2 表示側本体から同調ピンブロックの位置をロックケースに合わせて取付けます。



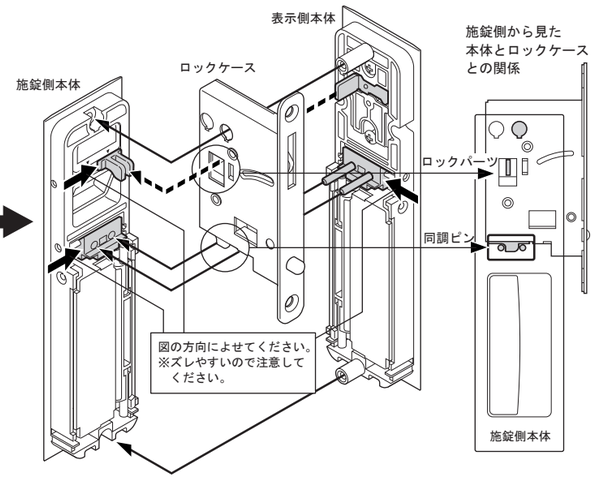
3 施錠側本体を取付け、ネジを止め、最後にフロントネジを引手の動きを見ながら本締めしてください。



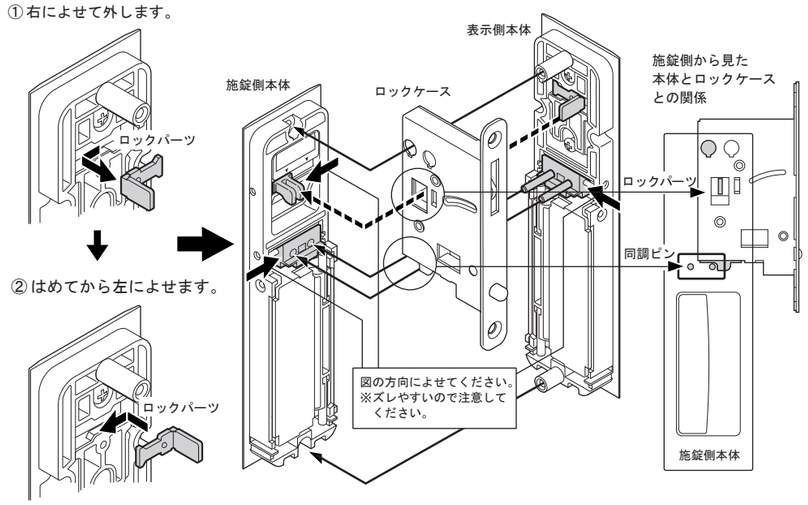
●本体の取り付けは右引き・左引きにより設定が異なりますので各設定をご覧ください。

右引き用 の場合こちらをご覧ください。

●バックセット３８の場合 ※出荷時の設定。



●バックセット５１の場合 ※表示側のロックパーツを反対に入れ替えてから本体を組んでください。

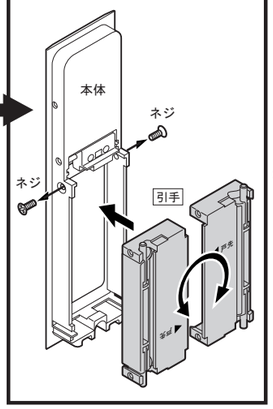


左引き用 の場合こちらをご覧ください。

施工する前に行ってください。

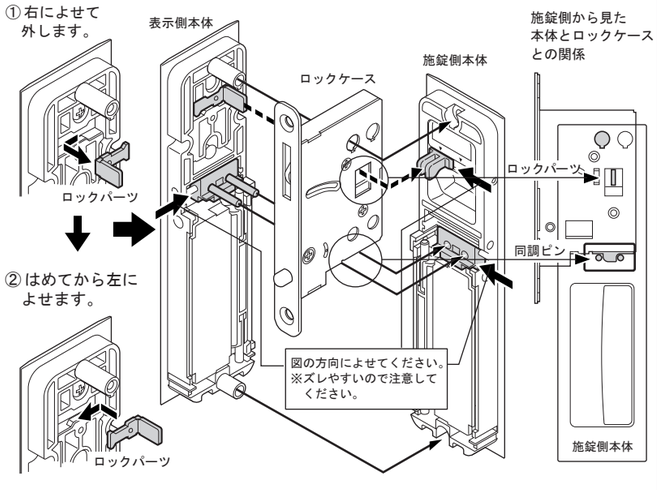
引手を左引き用に変更します。

本体のネジを外して引手を取りはずし、反転してまた取付けてください。
※両面とも行ってください。

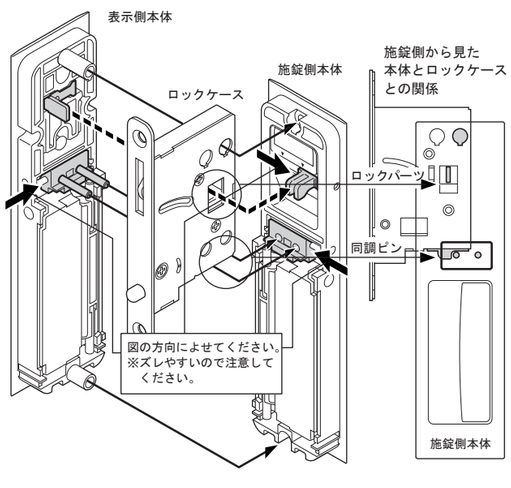


●バックセット３８の場合

※表示側のロックパーツを反対に入れ替えてから本体を組んでください。



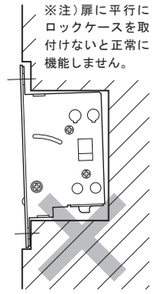
●バックセット５１の場合

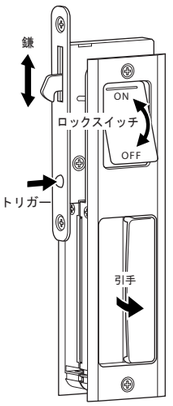


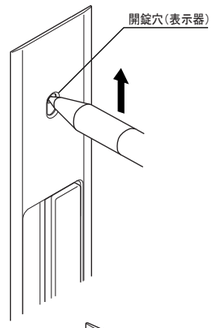
その他の調整・注意

●施錠のチェック

①トリガーを押すとカマが出ます。
②トリガーを押したまま引手を引くとカマが上下します。
（両面とも行ってください。）
③ロックスイッチをONにすると引手が固定されます。
④非常時の開錠は、ペン等を表示器の開錠穴に差込み持上げることにより行えます。



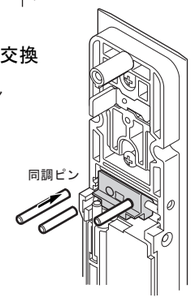




●扉厚による同調ピンの交換

扉厚（対応扉厚）により同調ピンの交換を行ってください。

◎30～34mm
交換なし（初期設定）
◎35～40mm
付属の長いピンに交換



●ストライクの調整

（初期設定では上下調整部はいちばん下に固定されていますので裏面キリカキ図を参考にして適切な位置に調整してください。）

正しい調整の目安

①扉を閉めてカマが掛かった時、戸と枠に隙間が無い状態。
②ロックをした状態で戸を閉めてもカマがストライクに掛からない状態。

症状			
カマが掛からない	→	上下調整	適正へ
	→	奥行調整	手前に
扉と枠に隙間がある	→	奥行調整	奥へ
ロックスイッチの動きが固い	→	上下調整	やや下げる
	→	奥行調整	手前へ
ロックしたのに扉が開く	→	上下調整	上へ

⚠ 注意

●取扱説明書をご確認の上、正しく施工してください。施工が不完全な場合、製品のガタツキ、落下等の原因となります。また取付け後、必ず動作確認をしてください。
●屋外や浴室など水がかかったり湿気が多い場所には設置しないでください。部品などが腐食して、破損や落下等の原因となります。

メンテナンスについて

●メッキ仕上、塗装仕上などの商品のメンテナンスは、中性洗剤を5～10%程度に希釈して使用し、磨き粉、ベンジン、油類などは表面を傷めますので、使用しないでください。

KAWAJUN
www.kawajun.co.jp

10-0405 Ⓢ No. 008

自動キャッチ型鎌錠(表示錠)／切欠図･KPケースロック寸法図　LZ3KPK

KAWAJUN

調整式ストライク

フロント

●バックセット38の場合

●バックセット51の場合